



北星学園大学短期大学部において、同学英文学科2年生（「アセンブリ」総合講義）を対象に、「持続可能な開発目標（SDGs）について」をテーマとした講義を実施しました。

## ＜概要＞

- ◆日時：令和6年7月9日（火）10:30～12:00
- ◆場所：北星学園大学短期大学部 図書館4階 特別教室A
- ◆講師：北海道総合政策部計画局計画推進課 職員
- ◆学生数：62名

## ＜当日の様子＞



## ＜主な質疑応答＞

Q	SDGsの期間は2030年までとされているが、北海道ではSDGsの先にどのような持続可能な開発政策や教育を考えているのか。
A	今年、国連による「未来サミット」が開催予定であり、2030年以降の方向性などが示される可能性があるため、注視したい。道においては、今年度新たに策定した北海道総合計画に基づき、北海道が10年後にめざす姿に向けて、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に資する施策を推進してまいりたい。
Q	企業がSDGsの取組を行うことで国から補助金が出る可能性があるのか。
A	SDGsに関する補助金については、脱炭素など個別の分野での支援が行われている。民間企業間においては、昨今の社会情勢の中では、補助金があるから取り組むということではなく、企業の発展のためには取り組むのが当たり前という考えの企業が増加してきている。